

- ◆ 宿泊療養施設の拡大(8,408室)に伴い、現行の弾力的な運用から、20・30歳代を含め、入院を要しない者は「原則宿泊療養」とする。

現在の弾力的な運用 (感染拡大時の対応)

【宿泊療養】

- ・ 40歳以上の患者は原則宿泊療養
- ・ 40歳未満の重症化リスクのある患者
(無症状含む)
- ・ 自宅において適切な感染対策が取れない患者等を優先

対象拡大

宿泊療養体制の拡大に伴う運用

【宿泊療養】

- ・ 入院を要しない者は原則宿泊療養

